

ふれあい

2022

6

No.423

牛久愛和綜合病院 広報誌



「ドクターカー運用の開始について」

救急医療科部長兼救急・外傷センター長 佐藤 孝幸

の要請により、医師、看護師等の医療スタッフと現場での処置に必要な医療器材を搭載して現場や患者を搬送途上の救急隊とのドッキングポイントへ向かう緊急車両であります。

救急患者の中には、病院へ搬送する以前に急に容態が悪化する方もいらっしゃいます。また、外傷などで現場より救出に時間要する場合や多数傷病者が生じている事案（局地災害、交通事故）等もあり

約2年間の準備期間を経て、令和4年5月より「ドクターカー」の運用を開始致しました。

の生涯教育研修の一環を担う
という側面もあります。これ
により、稲敷広域消防本部と
のさらなる連携を深め、消防
全体のレベルアップと地域住
民に対して健康と安全を担保
できるのではないかと考えて
おります。現状では人員の闊

出動範囲は現在のところ牛久市、龍ヶ崎市、稲敷市、阿見町利根町、河内町、美浦村の稲敷広域消防本部管轄内を予定しております。さらにこのドアクマカム運用は改めて改めて

さらには稻敷広域消防本部の協力、派遣により、運転手（機関士）、助手となる救急救命士2名の計4名のチーム構成で出動し、医療展開を致します。

当院のドクターカーは救急医療に精通する医師1名にD.M.A.T研修や外傷コースを修了した看護師1名が同乗し

ます。このような場合、病院へ到着する前より少しでも早く、医療提供することにより（病院前救急と言います）、救命率の向上を果たすことが可能となります。

は機動力であります。当地域の救急患者に対し、この機動力を生かし、1分1秒でも早く医療介入することにより、微力ながら救命率の向上と当地域の救急医療の発展に貢献できればと考えております。今後とも宜しくお願い致します。

所柄、交通外傷も多数症例となつております。また、茨城県南西部は、地震、水害なども含めた局地災害が起こりうる地域に挙げられております。

稻敷広域消防本部管内の救急患者の特性として、他地域に比較し、心肺停止症例と重症疾患が際立つて多く、さらには高速道路や国道に面する場

係から、当面月曜日～水曜日の日中のみを運用日とさせていただきました。今後、マンパワーの確保などがあれば適宜拡大していく予定であります。まずは、街中でサイレンを鳴らす当院のドクターカーを見かけたら、救急現場へ向かう途上であります。是非道を譲ってください。

ここが知りたい!

Q & A フォーナー



◎ 食中毒の危険性と予防・対応策を教えてください

2. 食べ物に付着した細菌を「増やさない」

A 腹痛や下痢、嘔吐、発熱などの症状で、疑われるひとつが「食中毒」です。食中毒は、その原因となる細菌やウイルスが食べ物に付着し、それを食べることにより発生します。特に、若齢・高齢者、抵抗力が弱い方は、重篤な症状を引き起こすことがあります。注意が必要です。

原因となる細菌の多くは、約20℃で活発に増殖し始め、人の体温ぐらいの温度で増殖スピードが最も速くなります。夏は湿度が高く暑いため、細菌の増殖に最適な環境であり、細菌が原因となる食中毒が6～8月に多く発生しています。食中毒を起こさない為には予防が大切で、次の3つが予防原則となります。

1. 細菌を食べ物に「つけない」
原因菌がつかないよう必ず手洗いをする。

(栄養科 科長 後藤和代)

低温で保存することが重要です。しかし、冷蔵庫に入れても細菌はゆっくりと増殖するので、冷蔵庫を過信せず早めに食べるなど。又、テイクアウトやデリバリーなどを利用する機会が増えていると思います。家に持ち帰った料理や届いた料理は、長時間放置せず速やかに食べましょう。

3. 食べ物や調理器具に付着した細菌を「やつつける」

ほとんどの細菌は加熱により死滅するため、しっかりと加熱する。中心部の温度が75℃で1分以上の加熱が目安です。また、調理器具はよく洗い、熱湯や漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）を用い殺菌しましょう。

食中毒予防3原則を守り、暑い季節も安全に食事を楽しみ元気にお過ごしください。

（栄養科 科長 後藤和代）

褥瘡対策委員会 Instagram 「床ずれぐらむ」



皆さんこんにちは。褥瘡対策委員会です。今回は「床ずれぐらむ」を始めたため紹介させていただきます。この「床ずれぐらむ」はSNS(Instagram)で、現在配信しているYouTubeの「床ずれぐらむ」の配信内容を簡単に紹介することを目的に開設いたしました。また、現在「床ずれぐらむ」を配信してはおりますが、質問や疑問などがあつた際に、お答えできない状況があります。そこでこの「床ずれぐらむ」のライブ機能などを活用し、地域の施設や訪問看護ステーションの方々と、処置での悩みやケア方法などの情報共有ができると考えているところであります。褥瘡は病院だけではなく、施設や在宅でケアすることも多くなっています。褥瘡ケアされる方へ少しだけ情報を提供できるように、今後も色々と活動をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。ア

（褥瘡対策委員会）

最近では、趣味は?と聞かれると食べることと答えることが多いかもしれません。サッカー部時代にたくさん食べていた影響なのか、もともと食べるこれが好きなのか、美味しいものをたくさん食べることが一番の息抜きとなっています。特に甘いものが好きな人が多いですが、前述の通り運動不足に拍車がかかっていますので、なるべく体に良さそうなスイーツを探しています。最近はさつまいもが食物繊維やビタミンが豊富だと知り、美味しい焼き芋や干し芋などを発掘することにハマっています。もし美味しいさつまいもスイーツをご存じでしたら、教えていただければ幸いです。

Dr. 趣味リレー

救急医療科医 天神 久実

春秋園だより



吹きゆく風に初夏の香りが感じられるこの頃、いかがお過ごしでしょう。春秋園では、季節の変わり目に利用者様が体調を崩さぬよう、室温や衣類・寝具類の管理を徹底しています。利用者様にとっては快適に過ごせる一方、季節の変化を感じにくくなってしまうため、少しでも春や夏のおとずれを感じていただけるよう職員も日々工夫しています。

春には、敷地内にある桜の開花に合わせ、レクの時間に散歩を行いました。安全対策として、職員一人に対しても人数を少人数とし、日を分けて対応しました。曇天であったり、風が強く花が散つてしまつたりと、必ずしも絶好のお花見日和ではなかった利用者様もいらっしゃいましたが、外気を肌

で感じ、窓越しではなく景色を見ることを喜んでくれる方が多かったです。利用者様の笑顔を見られたり、普段なかなかできない一対一での会話をすることができたりと、私たち職員にとっても楽しいひと時となりました。

また、五月の「母の日」にはカーネーションを飾り、プレゼントを渡しました。

母の日は、アメリカのアンナ・ジャービスの話が由来と言われています。

アンナの母は、平和活動に貢献した女性で、アンナは母の追悼式で、母親が好きだったカーネーションをささげ、

ただくために、薬が排泄される臓器機能や、他の薬との飲み合わせの確認を行った上で、治療薬の選択や、量の決定に携わっています。

現在は、より安全に薬を使用いたくするために、薬が排泄される臓器機能や、他の薬との飲み合わせの確認を行った上で、治療薬の選択や、量の決定に携わっています。薬の種類によっては、血液中の濃度を測定し、薬の量を調節することもあります。また、薬による副作用が疑われた場合には、代替薬の提案や、副作用症状を軽減するために支持療法の選択をサポートしております。

改めてご利用者様へ尊敬と感謝の気持ちを込めて、これからも職員一同精一杯努めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

(春秋園入所スタッフ一同)

部署紹介

薬剤センター（病棟）

薬剤センター 副科長 秋場 孝則

当院には、急性期、慢性期合わせて、11病棟がありますが、すべての病棟に担当薬剤師を配置しております。薬剤師といえば、薬の調剤や説明がメインと思われるがちですが、ここ10年で業務の範囲は大きく拡大しました。

現在は、より安全に薬を使用いたくするために、薬が排泄される臓器機能や、他の薬との飲み合わせの確認を行った上で、治療薬の選択や、量の決定に携わっています。薬の種類によっては、血液中の濃度を測定し、薬の量を調節することもあります。また、薬による副作用が疑われた場合には、代替薬の提案や、副作用症状を軽減するために支持療法の選択をサポートしております。

これらの背景には、医療が進み、多種多様な薬が世に出てきたことから、薬に関する情報量も膨大となり、すべての薬剤について、医師が把握することが困難となつて



5月1日付

入職者

■薬剤センター

薬剤補助

井上 智加

常に努力を怠らず、患者様や医療スタッフの方々と円滑なコミュニケーションをとります。



子どもの日集会

4/28

四月二十八日（木）子ども日集会を行いました。なかよし広場まで全員で歩いて行き、広い芝生の上で開催です。こいのぼりの歌を歌い、体操をしてから始まりました。

始めにかけっこです。ゴールまで、何度も何度も走りました。そして保育士と競争したり、保育士におんぶされておんぶ競争をしたり、自分で作った鯉のぼりを持っていっぱい走りました。

次に、わらべうたと鯉のぼりくぐりをしました。大きな鯉のぼりをくぐつて出

て来る子ども達は、みんな笑顔でした。

緑いっぱいの中で、初夏の気持ち良い風を感じることが出来た集会でした。



編集だより

雨と紫陽花の美しい季節になりましたね。満開に咲いていた桜も気づけば青々とした葉桜になり、窓の外を見ればいつしか四葩の時期。時の流れの早さを感じます。気温差により体調を崩しやすい季節ですので、十分に気を付けながら楽しく過ごしていきましょう。
(Y・A)

（保育課係長 柳原）

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床（一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床）

施設

敷地 59,449.60m² 駐車場 1151台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

関連施設

- | | |
|--------------------|------------------|
| 総合健診センター | Tel 029-873-4334 |
| 健康増進施設 スポーツリラックス | Tel 029-874-8791 |
| 人工透析センター | |
| 地域リハ・ステーション | |
| 介護老人保健施設 春秋園 | Tel 029-870-3100 |
| ひたち野ステーションクリニック | Tel 029-896-6200 |
| 特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 | Tel 029-817-5111 |

診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

【専門外来】

内科（禁煙外来）
整形外科（股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節）
小児科（小児循環器、小児心理、小児免疫）
皮膚科（レーザー外来）
外科（下肢静脈瘤外来）
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査（乳がん検診）

